

キリンググループ 2020年販売概況レポート

日頃から大変お世話になっております。キリンググループの2020年販売概況について、下記の通りご案内いたします。

記

1. キリンビール社

- ビール類計は、市場が対前年 91%程度と推定される中、当社は 96%となった。
 - ビール計は、市場が対前年 78%程度と推定される中、当社は 81%となった。
 - ・10月に発売した「一番搾り 糖質ゼロ」はコロナ禍で高まる健康志向と、酒税改正によるビールへの関心の高まりを機会に、好調に推移。上方修正した販売目標 160万ケース※を突破し、193万ケースを販売。「一番搾りブランド」缶計も 109%と大幅増となった。
- ※：大びん換算
- 発泡酒計は、市場が対前年 99%程度と推定される中、当社は 98%となった。
 - 新ジャンル計は、市場が対前年 103%程度と推定される中、当社は 105%となった。
 - ・「本麒麟」は酒税増税の仮需反動があった10月を除き、全ての月で前年超えを達成。発売3年目ながら3割増と大きく実績を伸ばし、1,997万ケースを販売した。

カテゴリー	前年比	(参考) 1-12月 前年比
ビール類計	96%	96%
ビール計	90%	81%
発泡酒計	101%	98%
新ジャンル計	98%	105%
RTD計	125%	112%

2. メルシャン社

- 業務用のボリュウムが大きい輸入ワインを中心に苦戦、ワイン合計は 97%にとどまった。
- 「おいしい酸化防止剤無添加ワイン」などが好調に推移し、国内製造ワインは 102%と好調に推移した。
- 「シャトー・メルシャン」は、販売店の増加など、家庭用が好調に推移し、107%となった。

カテゴリー	前年比	(参考) 1-12月 前年比
ワイン合計	91%	97%
国内製造ワイン計	97%	102%
輸入ワイン計	85%	91%

3. キリンビバレッジ社

- 外出自粛の影響で、オフィスなどでの需要が減少し、清涼飲料合計は前年割れで着地した。
- 健康意識の高まりによりプラズマ乳酸菌入り飲料は前年比 2倍以上で好調に推移した。

カテゴリー	前年比	(参考) 1-12月 前年比
清涼飲料合計	91%	91%

以上